

Keep growing ～新時代へ新たな挑戦～

# はたちの座談会 2023

生涯学習課青少年係 ☎(63)8323

1月28日、入粟野にあるグランピング施設「ザランタン鹿沼」を会場に、「はたちの座談会」が開催されました。

参加したのは市長、教育長と新たに二十歳になった8人。今回は屋外で焚火を囲みながら、1月8日におこなわれた「鹿沼市20祭」への想いや鹿沼市の未来などについて語り合いました。

原  
議  
会  
議  
員  
選  
挙  
は  
た  
ち  
の  
座  
談  
会

は  
た  
ち  
の  
座  
談  
会

庁  
舎  
整  
備  
だ  
よ  
り  
個  
人  
情  
報

予  
算

古  
澤  
育  
英  
会

フ  
ラ  
ッ  
シ  
ュ  
ア  
イ  
ド  
ル

市  
民  
の  
ひ  
ろ  
ば

健  
康

お  
知  
ら  
せ

木  
版  
画  
大  
賞

座談会の内容は  
次のページから！

# はたちの座談会 参加メンバー



## 鹿沼市20祭への想い

江俣

新しいことに取り組みるのは大変でしたがみんなで作る祭典はとても素敵だと思います。従来の1部制に戻り、アトラクションの内容を変えるなど工夫して計画してきた。メンバーとの交流が深まったことがうれしく、コロナ禍に入り学校行事ができなかったので青春を取り戻すような気持ちで取り組みました。

植野

この活動に参加しなければ出会わなかった人たちと友達になれた。一つのをみんなで作ることで、より仲が深まりました。20祭で、私はアトラクションの司会を務めました。昨年との変更点もあり不安もあったが、みんなの協力で成功させることができた。すごく貴重な経験・時間だったと思います。

青柳

わたしはイラストが得意だったので、2年連続で、パンフレットを担当しました。周りの意見を聞き、相談しながら作成できたことはとても良かったです。

清水

自分たちは高校3年生の時にコロナ禍で学校行事がなくなりました。実行委員としては、みんなで協力して活動する機会があり、恵まれていたと思います。

市長

祭典参加者の皆さんや企画・準備にあたった委員の皆さん、双方に満足感があつた素晴らしいイベントだったと思います。過去を踏襲するだけでなく、アイデアを活かし改革をすることが求められる時代です。今後も挑戦し続けて欲しい。また、ここで得られた友情を大切にしてください。でももらいたいと思います。

植野

「当たり前」が変化していく中で、その変化を受け入れ順応性のある人間になっていきたいです。

中山

大学に通っている今でも、コロナ禍による制限を感じることはあるが、授業や会議などリモートでできることもあると気付いた。今後はウィズコロナに適応していく力が必要だと思います。

大淵

今までは学校行事や進学のことなど人から目標を与えられてきました。コロナ禍になり自由に活動ができなくなった中では、自分で目標を見つけて、自ら動いていく力が必要だと思いました。

教育長

当たり前が変わることをこれほど感じさせられる時代は今までなかった。そのような中、自分でできる力をつけていく、新しい価値観を作っていくという話は素晴らしいと感じました。新しいことに挑戦し得意を活かそうとする皆さんは心強いと感じます。

石綱

鹿沼に住んでいる人はもちろん、鹿沼に少しでも興味を持っている他の地域の人が鹿沼で触れ合える街になってほしいと思っています。年代だけでなく他の地域の人も話し合い、お互いが発展する機会を設けてほしいです。

青柳

鹿沼に力を入れてほしいことは交通面です。電車・バスの本数が少なく車がないと動きづらい、そうすると市外の人も来なくなってしまうと思います。

石嶋

私は今地元を離れています。鹿沼に帰ってくると思うので、鹿沼の人たちが温かく迎えてくれる、安心できる場所にしてほしいです。

## 変化のある社会を どう乗り越えるか

## 鹿沼に望みたい

座談会の様子



市長

温かみこそ故郷の故郷たる所以であると思うので、それを失わないような「笑顔あふれるやさしいまち」を目標にしています。交通面についても要望や見直しを行っていますがなかなか正解がない。ぜひ今後も声を聴かせてください。

感謝を伝えたい人・  
20歳の抱負

大淵

実行委員や、司会まで務めさせていただき感謝しています。自分の言動に賛同してくれる人以外の、たとえ自分の性格と合わないような人も含めて、これまでの全ての出会いに感謝したいです。

清水

一人暮らしをしています。生活の知識が全くなかったので家族の支援がなかったらここまで生活できなかった。祖父母が、作った野菜を送ってくれるので家族にはたくさん感謝しないとけないと感じています。

江俣

大学で教育について学んでいます。将来目指している教員として働くうえで、人生で得た経験を子どもたちに伝えることは大切だと思っている。実習で小学校に行った際に校長先生からいろいろな経験をすることが大切だと言われたので、今しかできないことに挑戦していきたい。

教育長

近年、夢や目標を持つている中学生の割合が減っているような中で、自分のやりたいことやこれまでの出会いへの感謝というお話は本当に大事です。どのような道に進むとしても自分の経験を後輩に伝え、その絆を大切に頑張ってもらいたいと思います。

若者が一丸となるためには

石網

互いの強み・弱みを共有し、若者主体で活動する場が必要だと思います。そこに交流があれば得意・不得意を補い合い改善していけると思う。他の地域における同様の催しでは鹿沼市20祭以上の主体性はなかったと聞きました。20祭だからこそ若者中心でできたということを、実行委員として活動した2年間で実感しました。

石嶋

少子化をチャンスと捉え、少ない子どもたちに質の高い教育を受けてもらい地域でまとまって成果を出せるようになれるといいなと思います。

江俣

主体的に活動できる機会を得て、その内容を発信していくことが必要だと思います。発信により輪が広がり協力できる機会が増えていくと考えます。

市長

問題について頭でわかっても体験してみないとわからないことは多い。若い世代の感覚で必要と思う提案は積極的にしてほしいと思います。

今回ご協力いただいた「ザランタン鹿沼」の浜崎さんから二十歳の皆さんへメッセージ

「ザランタン鹿沼」という名前にはまちと地域をつなぎ、地方創生をとおして地域に明かりを灯すといった願いが込められています。皆さんには、ぜひ何かの形で地元を盛り上げてほしいと思います。



佐藤市長

目標を持って努力することは大切です。コロナ禍だからこそ気付いた感謝の気持ちを大切に、これからも頑張ってください。



中村教育長

自分を見つめる、自分を高める、人とつながるということを大切に、未来の子どもたちのために皆さんの力をお借りしたい。



県議会議員選挙  
／はたちの座談会

はたちの座談会

庁舎整備だより  
／個人情報

予算

古澤育英会

フラッシュ  
／アイドル

市民のひろば

健康

お知らせ

木版画大賞